

## 〈平成30年度 総会〉

## 開催挨拶

環境システム計測制御学会 会長  
京都大学大学院工学研究科 教授 清水 芳久



私がここで会長挨拶をさせていただくことも、今回で7回目となりました。皆様のおかげでここまで会長をやらせていただいております。EICAはその運営が大変苦しい時期もありましたが、皆様のご支援の下、ようやくその危機も脱したように思います。ひとえに皆様のご協力があったためと、心より感謝を申し上げます。ありがとうございます。

昨年、一昨年と各委員会（総務・企画合同委員会、編集委員会）で様々な活動をしていただいております。この総会、そして毎年秋に開催します研究発表会、毎年4号発行の学会誌「EICA」、すべてにおいて毎年滞りなく盛会に開催され、また学会誌においては興味深い特集の企画とその掲載をしていただき、ここ数年非常にうまくいっているように思います。

昨年には学会ホームページもリニューアルされ、若手の参加の促進を目指しており、一昨年には学会を紹介するパンフレットも新しく作成され、参加していただいている企業そして公益団体、行政団体に私たちの活動をアピールしていこうと努めているところです。

そして最近ではその活動が少しずつ実を結んできているのでは、と思うことが出てくるようになりました。例えば学会の委員会や研究発表会、企業等の訪問先、大学の研究室での来客の際、「どこかで会っていますよね」とお会いした若い世代の方にお声がけすることが増えてまいりました。よく聞いてみると、EICAが継続して推進してきております若手育成プロジェクト、「未来プロジェクト」「新・未来プロジェクト」

「未来企画会議」の卒業生で、これも10年以上の間、頑張って継続してきたよかった、と思える瞬間が多々あります。

EICAは2年後に創立30周年を迎えます。改めて皆様のご支援、ご協力を頂きながらまずは30周年を迎えて、またそれを通過点として30周年以降も発展していくことが出来ればと思います。

なかなか学会活動は難しい時代を迎えています。EICAもそんなに規模の大きい学会ではありません。しかし人数が少ないことによって皆様のお顔が見える、声が聞こえる、自由に意見が交換できる、そんな心が通う学会であり、これからもそうありたいと願っております。

このあと講演会、交流会が開催されます。最後まで活発にそして楽しくご参加いただければと思います。

本日はありがとうございました。

開会に先立ちまして、全員起立のもと、平成29年6月12日に逝去された倉田学児氏（EICA事務局長(当時) / 京都大学大学院工学研究科 教授）へ哀悼の意を表して黙祷がささげられました。

合掌